

平成 30 年度第 4 回仙台市学校給食運営審議会会議録

- 1 日 時 平成 31 年 2 月 8 日 (金)
午後 6 時 00 分開会
午後 7 時 30 分閉会
- 2 場 所 仙台市役所 2 階 第 3 委員会室
- 3 出席委員 岩崎薫会長、丹野久美子副会長、
岩井博美委員、岩崎奈緒子委員、川村和久委員、花岡弘二委員、平井みどり委員、
曾根由美子委員、高橋順子委員、岡崎博子委員、佐藤修子委員、
大場愛美委員、小野寺啓次委員、桂島祥子委員
- 4 事務局職員 千葉総務企画部長、西崎健康教育課長、廣瀬主幹
金田給食運営係長、渡辺給食施設係長、鎌田主査、結城主査、千葉主査、齋藤指導主事
瀬川荒巻学校給食センター所長、中田高砂学校給食センター所長、
小野寺野村学校給食センター所長、白鳥南吉成学校給食センター所長
- 5 説明員 西崎健康教育課長、金田給食運営係長

6 定足数の確認

議事に先立ち、事務局より、本日の出席者が 14 名であり、仙台市学校給食運営審議会条例第 5 条第 2 項の規定による定足数を満たしているため、本会議は成立している旨報告がなされた。

7 会議録の署名委員の指名

会長 仙台市学校給食運営審議会実施要領第 6 条の規定で、会議録の署名委員は、会長と会長が指名する委員 1 名となっていることから、今回は小野寺委員を指名する。

8 議事「適正な学校給食費について」

会長 では、「適正な学校給食費について」に移る。まず、これまでの審議経過について事務局より説明願いたい。

事務局 適正な学校給食費については、7 月に開催した第 1 回審議会において、教育委員会から当審議会に諮問を行っており、11 月に開催した第 2 回審議会では、近年の食材価格の上昇により、献立に取り入れることができる食材の選択肢が狭まった結果、給食の栄養量が次第に低下している現状等を事務局から説明した。これを受け、委員の皆さまからは、そのような状況であるならば給食費の改定もやむを得ないのではないか、ただし具体的な額については、給食費改定によって献立や栄養量がどのように改善するのかといった検討など、様々な観点からさらに議論を尽くすべきである、また改定に当たっては、保護者に対し丁寧に説明する必要がある、という意見をいただいた。続いて 12 月に開催した第 3 回審議会では、給食費改定の審議に当たっての前提となる考え方について、学校給食摂取基準及び学校給食の意義や役割等について事務局より説明し、審議会として今後給食費の改定を検討するに当たっての共通の尺度、認識共有を図っていただいた。簡単にまとめると、給食費改定を検討するに当たっては栄養摂取、食育、保護者負担のバランスに留意すべきであることであった。これまでの審議の経過は以上である。

会長 前回の事務局からの説明で、我々委員も今後の仙台市の学校給食を考えていくための必要な事項やポイントについて理解を深めるとともに、共通認識を図れたと考えている。前回欠席された委員もいらっしゃるため、あらためて事務局より概要を説明願いたい。

事務局 (資料 6 頁～7 頁に基づき説明)

会長 仙台市の学校給食を充実させていくためには、栄養摂取についての面だけを取り上げるのではなく、食育についての視点も必要であり、この 2 つの視点と保護者負担のバランスで給食費の改定を考えていかなければならないという説明であった。前回の審議会では、この点について共通認識を図れたのではないと思う。ただいまの事務局からの説明について、何かご意見やご質問等あればお願いしたい。

委員 (特になし)

会長 それでは、続いて、こうした前提に立って、他都市の栄養摂取の状況や改定のシミュレーション資料を見ていきたいと思う。まずは他都市の栄養摂取の状況等について、事務局より資料の説明をお願いしたい。

事務局 (資料 8 頁～11 頁に基づき説明)

会長 ただいまの事務局からの説明について、何かご意見やご質問等あればお願いしたい。

委員 「栄養強化食品」について教えてほしい。

事務局 不足しがちな栄養素を添加している食品であり、例えばヨーグルトの中にカルシウムが添加され通常よりカルシウムが多く摂れるものや、ゼリーの中に食物繊維や鉄が入っているものなどがある。仙台市においては、食育の観点から、自然の食品から栄養を摂ることを学んでほしいということもあり、積極的に栄養強化食品を使用していない。

会長 続いて、給食費の改定によるシミュレーション結果について、事務局より資料の説明をお願いしたい。

事務局 (資料 12 頁～17 頁および別冊資料に基づき説明)

会長 なお、本日も用意したシミュレーション資料だが、平成 30 年 6 月の献立を基にシミュレーションを行っており、食材価格には今後見込まれる価格上昇を加味していない。事務局としては、より最新の食材価格などの追加要因を加味した資料を次回の審議会に提出したいと考えている。

会長 そうすると、具体的な改定額については慎重に審議を進める必要があることから、今回早急に結論を出すのではなく、次回の資料も確認した上で判断していくのがよいのではないかと。今回は、今後見込まれる食材価格の上昇を加味していない資料であるが、どの程度の改定額でどれくらい栄養量が充足され、献立内容が充実していくのかを資料を通して確認し、妥当な改定額のおおよその水準についての意見交換を図るという意味合いで、皆さまのご意見を伺っていきたいと思うが、今回はそのような進め方でよろしいか。

事務局 (異議なし)

会長 それでは、シミュレーション資料について、ご意見、ご質問等あればお願いしたい。

委員 30 円改定しただけでも随分と栄養充足率が変わることが分かった。ただ、50 円改定してもまだ充足されない栄養素があるということで、さらにもう少し高い金額を設定しなかったのは他の自治体と比較してこのくらいが妥当だろうということなのか、それともかなり値上げしないと全ての栄養素が 100%にならないからなのか、その辺のところを教えてください。

事務局 どれくらいの値上げなら保護者の皆さまに受け入れられるのかということも重要と思われる。前回、平成 25 年度の改定時には小学校で 20 円、中学校で 22 円の改定であったが、それ以降の食材価格の上昇が大きいため、前回と同じレベルの改定では、改定しても献立内容や栄養量の増加が見込めないということもあり、今回のシミュレーションでは 50 円を上限として設定した。本日は保護者の委員もいらっしゃるのこの点についても議論いただきたい。

委員 栄養を充足させるというのは給食の目的であるが、シミュレーションでは、小学校では 40 円改定で 1 日の望ましい摂取栄養量の少なくとも 3 分の 1 を充足することができる。一方、中学校では 50 円改定でも鉄が充足できないので、そこを工夫してほしい。また、品数やボリュームが増えるということが残食率の増加に影響を与えるかについても考慮が必要である。楽しく食べることが食育につながる。摂取基準を全て充足するというデータでは 80 円から 90 円程度の改定が必要となったが、食材を選ぶ幅が制限され日々同じようなものを食べなくてはならなくなると

- 委員 鉄瓶で沸かしたお湯を飲むと貧血になりにくいというのと同じ発想ではないか。足りないものをどう補うかということである。
- 委員 保護者はそこまで細かく考えていないのではないか。高校生の子供はプロテインを飲んでいる。そういったものが嫌な人もいるとは思いますが比較的受け入れているのではと思う。
- 委員 自分は気にしたことはないが、オーガニックにこだわっている保護者もいる。そういう方はどう受け入れられるか。
- 委員 食の分野では両極化が進んでいる。プロテインを摂取する人もいれば、オーガニック食品しか購入しない人もいる。こだわる人はとてもこだわっているので無視はできない。理解してもらえるように話していかないと反発が出ると思われる。また、食育の意義については次回説明があると思うが、抽象的に感じたので食べる楽しさとは具体的にはどう考えているか教えてほしい。
- 会長 ここまで委員の皆さまからは、栄養摂取と食育のバランスをどうとらえるか、品数を増やすのか質の向上を目指すのか、栄養補助食品を取り入れるかどうか、残食率を増やさないように楽しくおいしく食べられる給食にするために献立の工夫が必要であるといったご意見をいただいた。次回の審議会では、最新版のシミュレーション結果をもとに、具体的な改定額について、さらに検討を加えていければと考えている。
- それと、資料の最後に、昨年11月8日に開催された第2回審議会で説明のあった「異なる給食費単価の取扱いに関する事務局の考え方」が掲載されている。第2回の審議会以降に新たに委員になられた方もおられるので、給食費の改定を検討する際の関連する課題として、あらためて事務局から説明を受けたいと思うが皆さまよろしいか。
- 委員 (異議なし)
- 会長 それでは、事務局から説明をお願いしたい。
- 事務局 (資料18頁に基づき説明)
- この課題については、次回以降により詳しくご説明し、審議会のご理解を得たいと考えている。
- 会長 事務局の考え方としては、公会計化後の給食費は学校単位のものではなくなること、仙台市の学校給食は市内のどの学校でも同等水準で提供している中、単価の異なる状況は好ましくなく、統一を図る必要があるのではないかということであった。また、次回以降により詳しく説明をいただけるとのことであった。この同じ市内で給食費単価が異なっているという課題については、本日は審議時間もだいぶ経過しており、次回以降の事務局からのより詳しい説明を待ちたいと思うが、そのような進め方でよろしいか。
- 事務局 (異議なし)
- 会長 それでは、そのように進めたいと思う。本日は、事務局からの説明について、ご質問等あればお願いしたい。
- 委員 (特になし)

9 その他

- 事務局 次回の審議会は5月下旬から6月上旬ごろに開催させていただき、引き続き適正な学校給食費についてご審議いただく予定である。できるだけ多くの委員の方々に出席していただくため、次回の審議会についても、夕方以降の開催を含めて調整させていただきたいと考えている。

以上

平成31年 2月28日

署名委員 仙台市学校給食運営審議会会長

岩崎 薫 

仙台市学校給食運営審議会委員

小野寺 啓次 